

ねんじゅうがっ
おお なかま い ま か みらい そうぞう
多くの仲間とともに現在を変え未来を創造するために 2016年10月

KSKQ ファースト・ラン NO. 99



『
花
火
』
馬
木

優
一
氏

スタッフリレーコラム～こんなメンバーであんじょうやってます～

『「相談する側の視点」を忘れずに』

日本では現在、「2週間に1度」の割合で「介護殺人(高齢者介護に関わる事案)」が発生しています(2016年7月3日放映NHKスペシャルより引用)。これと同様に厳しい状況に置かれている「障害者介護」に関わる「数値」を加えると実態はもっと深刻なのでは！

確かに新聞紙上でも「高齢者や障害者介護に関わる殺人・心中事件」を頻繁に目にします。その度に、「そこまで追い詰められる前に相談してくれば手立てを考えたのに」「様々な相談機関があるので一人で抱え込まずに相談して」との主張がなされますが、一般読者コメント欄には以下のような指摘もあり。「相談すれば解決できたの?」「相談に行ってもろくに聞いてくれない」「制度や施設の説明をされるだけ」「待機者数を教えられて絶望感が増すだけ」「事業所名簿を渡されるだけ」等々。

相談機関に身を置く者としては大変「耳が痛い」指摘。介護殺人という悲劇を防ぐには、各種社会保障社会福祉制度の更なる改善拡充とともに、「相談する側の立場」「相談に至るまでの苦悩や願い」に寄り添った相談活動の重要性を強く感じた次第です。(福永 英司)

みんなの「はたらく」

めいこう しゅうろういこう ひらのりょうた
明光ワークス (就労移行) : 平野涼太さん



りょうた しごと み
「涼太さん、ちょっとふだんのお仕事、見させてもらえませんか？」
あつ なか ひ わたし ひらのりょうた ねが
暑さまったく中のある日、私は平野涼太さんをお願いをしました。

ひらのりょうた げんざい は た ち げんき れいぎただ だんせい しゅうこうぐん とくせい
平野涼太さんは現在二十歳の、元気で礼儀正しい男性です。「ダウン症候群」という特性があります。ダウン症は一般的には筋力や
ちのう さまざま のうりよく せいしやう ゆる い ひらの しゅみ かいきやく お は こ ふくどつ
知能など様々な能力の成長が緩やかになると言われています。が、平野さんはダンスが趣味で開脚ジャンプが十八番。複雑なフリ
やステップもこなす、こせいゆた せいねん
個性豊かな青年です。

こんかい しゅざいしや わたし みのおししょうがいしや せいかつ ろうどうすいしんきやうぎかい しよくいん ひらの よ か かつどう しえん
今回の取材者である私はふだん「箕面市障害者の生活と労働推進協議会」の職員として平野さんの余暇活動の支援をしています。
そんな中でふと「余暇以外の時間はどんな感じなんだろう？」と思いました。平野さんと会う時には「今は就労移行でこんな仕事
をしてます」とうかがうものの、それ以外のことは詳しくは知りません。「世間的にも仕事って大変なものだし、色々な苦労もある
のでは？」と思うのでした。「労働」推進協議会というからには労働も推進しなければなりません。でも今のところ当法人は労働や
しゅうろう かん じぎやう ちよくせつてき しゅうろういこう わたし こじん は し
就労に関する事業を直接的にはもっていません。「はて、そもそも就労移行とは？」。私いち個人は恥ずかしがらななく知っ
ている、くらいの感覚です。まずは労働のことをよく知る必要があります。……そもそも「はたらくこと」ってなんなのか……。
わたし ひらの しゅうろういこう うんえい めいこう ねが じやま
私は平野さんと、就労移行を運営している「明光ワークス」をお願いをしてお邪魔することにしました。

てんこう めぐ とうじつ めいこう しよくいん かた あんない しふく ちが すがた ひらの
天候にも恵まれた当日、明光ワークスの職員の方にご案内いただくと、いつもの私服とは違う、ユニフォーム姿の平野さんがいま
した。



「そんなに不安とかはなかったですね」

平野さんは箕面支援学校の高等部を卒業後、明光ワークスに通い始めました。「自立訓練」という、日常生活をしていくための家事やマナーの訓練を2年経験したのち、現在の「就労移行支援」と呼ばれる就職をするための訓練を受けています。就労移行も2年間の予定で、今は半年ほど経験されたところなんだそう。就労移行支援の目標は、一般企業での就労です。

Q . - 学校卒業後に不安はなかったんでしょうか。
「そんなに不安とかはなかったですね」

「不安はない」と平野さん。でも当時を知る明光ワークスの職員さんは「最初は緊張が解けるまで少し時間が必要だったようです」と仰っていました。後日ご家族にうかがったところ「家ではあまりそういう

う雰囲気は見せなかったけれど、不安や緊張もあったと思います」とのこと。学校の同級生や知り合いが同じ就労移行に通っていたことも励みになっていたようです。ちょっぴり強がりもあるのかもしれませんが、仲間と一緒につけていった自信が今「そんなに不安はなかった」という言葉に表れているのでしょうか。

「失敗はここで沢山してもらって、良い所を伸ばして欲しい」

平野さんは世間一般の仕事と同じように、平日の朝から夕方までを明光ワークスで過ごします。午前と午後に分けて様々な仕事や訓練をします。パソコンで Word や Excel の打ち込みをしたり、日によって箕面市の公園清掃の仕事に出たり、商品の制作をしたり。

公園の清掃は午前中によく皆さんで行うそうです。箕面市から受託している市内 6 箇所の清掃に皆さんで行かれるとのこと。受託している以上はしっかりと仕事をしないとイケません。ところが今は真夏、相当過酷な作業でもあります。水分補給や熱中症対策には、作業をする皆さんも職員の皆さんも細心の注意を払っているということでした。自己管理の一環ともいえそうです。

制作の仕事としてタッパーの加工作業を見せてもらいました。……なんか見たことがあります、これ。

「百均とかで皆さん見かけられますよね。こういう商品を作る仕事もあります」

職員の徳井さんが説明してくださいました。

「単純な工程のものもありますが、サイズや組み合わせが複雑なものもあります」

商品に合わせて作業を変えなければいけないんですね。

そうこうお話しているうちに平野さんは慣れた手つきでどんどんタッパーの加工を済ませていきます。ふと気になることがあり徳井さんに質問しました。

Q . - 色々な仕事があるようですが、働く方の特性に合わせてお任せするのでしょうか。

「皆さんの特性のことはもちろん考えますが、仕事を合わせるというよりは、むしろ皆さんができるかぎり仕事に合わせる柔軟さを身につけていただくのが大切だととらえています。職場だと苦手な仕事もやらなくてはいけない時だってありますし、職場のルールとか規則もありますから、そういったものにどれだけ皆さんの能力を活かして合わせていけるようになるか、という感じですね」



なるほど。そういうの……ありますね、^{しごとば}仕事場だと……。^{わたし みみ}私も耳が痛いんですけど……。

「でも皆さんに^{にがて}苦手の克服を無理に^{かんが}考えてもらうことはしません。ここは^{しっぱい}失敗してもいい場ですから、たくさん^{しっぱい}失敗してもらって、その失敗を活かしてどんどん良いところを伸ばして^いいってもらいたいですね」

実作業だけではなく、作業の^{さぎょう}正確性や^{はや}速さを追求するための^{くんれん}訓練もありました。^{さき}先ほどのタッパー作業と同じく、慣れた手つきで^{いろい}色々な組み合わせのボルトナットを作っていく平野さん。これも^{きろく}凄く集中。丁寧に、黙々と。職員の方がストップウォッチを持ち、^{きろく}記録していきます。

「業務では^{せいかく}正確さだけでなく、^{はや}速さも求められますからこういう^{くんれん}訓練をしています」

Q . - こういう訓練では皆さんの^{なか}中でライバル関係や競争があつたりするのでしょうか。

「あんまりないんじゃないでしょうか。皆さんそれぞれに^{じぶん}自分の記録や^{きろく}目標がありますので。皆さん^{さぎょうじかんちゆう}作業時間中は集中していますね」

^{じぶん}ご自分との戦いのようです。

Q . - お昼休憩の時は平野さんや皆さんはどんな雰囲気ですか。

「全員が同じことをしているわけではないので、^{ちが}違う訓練や仕事に参加している人達同士も^{あつ}集まって皆さんでワイワイ^{しょくじ}食事を^{たの}楽しまれています。人間、集中できる時間に^か限界はありますし、こういった訓練だと職員が見ていて『^{しゆうちゆう}集中切れてるな』と分かる時もあります。『オン・オフを^{こころ}しっかり』というの^{こころ}も心がけていますね」

^{しゆうちゆう}就労移行支援の掲げる目標が「^{いっばん}一般企業での就労」ということもあり一般の企業と同じように、もしかすると^{きりつ}規律や^{ぎやうむ}業務のサイクルは企業よりも皆さん^{みな}しっかりしているところがあるのかも、と^{かん}感じました。

Q . - 平野さんは着実にステップアップしているように見えます。

「そうですね。平野さんは^{いま}今お願いしている仕事については^{じゆんちゆう}順調に^きいっている気がします。^{そうじ}掃除も^す好きみたいで、^{せいそうぎやうむ}清掃業務も^{まえむ}前向きに参加してくださいまし、^{せきにんかん}責任感も^{つよ}強くて。『仕事は楽しい』とよく^{しごと}言っておられます。以前に^い支援学校の先生が見学に^こ来られたことがあつたんですけど、『平野君は見違えたね！』と^{おどろ}驚いておられました。昔から^{むかし}彼を見ている人からすると、^み変化がよく^わ分かるみたいです。平野さんも^{すこ}凄く^{うれ}嬉しくて^{はげ}励みになったようで^よ良かったなと思っ^{おも}ています」

作業を終えた涼太さんにもうかがってみました。

Q . - 自立訓練から就労移行に移る時に大変さは感じましたか。

「そんなに大変なことはなかったです。ただ疲れて帰りのバスで寝過ごして
終点まで行っちゃった、とかはありましたね (笑)。就労移行に行くようになってからはそういうのはなくなったけど」

- あるある。

Q . - 好きな仕事とか苦手な仕事ってありますか。

「苦手なのはそんなにないです」

「好きなのは……。作るのは好きですね。お給料も出るし嬉しいんで」

- お給料が出るとやっぱりテンション上がりますよね！

Q . - 仕事やってて良かった、ということはあるですか。

「先生に褒められたって言ってたじゃないですか。あれホントの話ですね」

- 久しぶりに会った人に褒められるのは嬉しいですよね。

「嬉しかったっすねー！」

Q . - 就労移行の後に「こういう仕事をしたい」というのはありますか。

「うーん。今は、まだ考え中ですね。まだ家族にも相談してないんで」

- これから。

「うん、これからですね」

- 平野さん、今回はどうもありがとうございました。

「ありがとうございました。僕の仕事、見てもらえて良かったー！」

そう言っただけだと、こちらも仕事が楽しくなりますね！

平野さんのこれから

平野さんは今自分の前にある仕事や役割を着実に果たしていく力があるようです。そんな平野さんを見て、ご家族や周囲の人々は「その先」も考えておられます。たとえば、支援を受けつつ実家以外での暮らしに挑戦してみたり、これまでやったことのないタイプの仕事や趣味に打ち込んでみたり……。平野さんへ向けられる期待も大きいようです。求められた役割を果たせるようになってきている平野さんですが、今度は自分で役割をつくることに挑戦していくのかもしれない。「はたらくこと」を通して、たんに仕事内容だけでなく喜怒哀楽の感情も含め生活していくための沢山の経験を吸収していく、平野さんは今まさにその途上にいるように感じました。就労移行はあと1年半、これから平野さんはどういう仕事に出会っていくのでしょうか。

取材協力：明光ワークス

写真・文：坊野一 乗



写真撮影中、おもわず笑みがこぼれる平野さん



平日は仕事、休日はダンスに全力！

明光ワークスでは今回紹介した就労移行支援以外にも、生活介護（ワーク）や、就労継続支援B型などの「はたらくこと」に関係のある支援などを行っています。見学も随時受け付けておられます。はたらくことにチャレンジしたい方はぜひお問い合わせを！

社会福祉法人 大阪府障害者福祉事業団 多機能事業所 明光ワークス
電話：072-729-2182（代表）

<http://www.sjf-osaka.net/09meikoworks/>

みんなの「お仕事」見学レポート



みなさん、日中活動先ではいろいろなお仕事をされていますが、お仕事風景をご覧になる機会がありますか？今回は、4月に開所したグループホーム第3結の入居者さん2名の日中活動先にお邪魔してお仕事見学をさせていただきました。昼間はどんな様子なのでしょう。

一人目は、あかつき福祉会で箕面市のごみ袋を袋詰めするお仕事をしているMさんです。ごみ袋が10枚入った袋を機械で圧着する作業を見せてもらいました。彼女は元々、きちりとした性格なので、お仕事もきちりしていて、出来上がった袋もきれいに整頓されています。さすがMさん！でも、ペースはゆっくりだそうで、他の人と分担量が違うのだとか。「私の方



ばかり見てないで、集中してがんばって！」と心の中で応援しつつ、他の方のお仕事場も見せていただきました。出来上がったごみ袋を10枚毎に分ける印を入れていく人、10枚のごみ袋をきれいに4つに折りたたんでいく人、数の正確さや作業スピードが職人技で、素晴らしいのです。つるつるとしたごみ袋があっという間にきれいに4つに折りたたまれていきます。扱いづらいたろうに、すごい！の一言です。ごみ袋がこんな工程を経てお店に並んでいるとは、知りませんでした。きちりゆっくりお仕事するMさん、職人技の方々、いろいろなペースの人の手を経て出来上がるごみ袋、私にとっての社会勉強でもありました。



二人目は、「たんぽぽのわたげ」というリサイクルショップで店番をしているKさんのところにお邪魔しました。服や本、食器など、いろいろな物を取り扱っていて、見ていだけでも楽しいお店です。お料理好きな彼女に、グループホームで使う食器を選んでもらいました。お魚はこれがいんじゃないかな？とか具体的なアドバイスもできる店員さんです。頼

りになります。今度は、私に似合う服を探してもらいに行こうかな。お近くの方はぜひ、箕面市西小路にある「たんぽぽのわたげ」に行ってみてください。素敵な笑顔の店員さんが迎えてくれますよ。

(大野 永美子)



～ ひとり暮らし 9 年目 僕の場合 ～

地域ではヘルパー派遣を利用しながら自立生活をしている方がたくさんいます。これからひとり暮らしを始める人、ひとり暮らしに憧れているけど色々な不安を持っている人…等々、迷っている人の何かしら参考になればと今回おひとりの方にお話しを聞かせていただきました！ひとり暮らし 9 年目の僕…とは大阪府内在住の 30 代男性 H さんで職業は自称なんでも屋さん(笑)です。(以下インタビュー)

質問 1、ひとり暮らしを始めようと思ったキッカケは？

H さん 『年齢も 30 歳近くになりいつまでも親と暮らすのはよくないなと思ったから。自分が無理をできる年齢だったのもある』

質問 2、ひとり暮らしが実現するまで特に大変だった事は何？

H さん 『まず家探しに 3 カ月かかった事。車椅子で入れる家を探すのが大変。後はヘルパーさんの確保』

質問 3、ひとり暮らしが始まって不便に感じた事はある？(又は後悔した事)

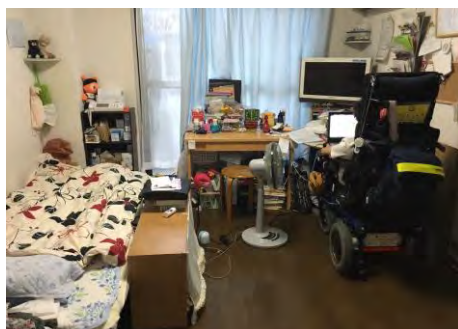
H さん 『調理の時、自分が食べたい物の作り方や野菜の切り方等ヘルパーさんへ伝えなければいけない事が多いのでもう少し料理の勉強をやっておいたら良かったと思った。ヘルパーさんによって使いたいものが違うので(調理器具や掃除道具等)揃え方に悩んだ。あと思っていたより生活リズムを作る事がへただと感じた』

質問 4、これからひとり暮らしを始める人又は考えている人へメッセージを！

H さん 『ひとり暮らしをしたい！と思っているならまず始める事。あ～やこ～やと思ってどんどん出来なくなる事が時間の無駄。やり始めたら意外とひとり暮らしは難しくない。自分が頑張れば周りは助けてくれる。一歩踏み出して下さい！！』

～取材を終えて～

たくさん利用者と関わらせてもらって色々な事を感じるけれど、ヘルパーさんとはいえ他人



だしひとりにになりたい時でも誰かがいるという事の

しんどさ、まして 24 時間サポートが必要な方と

なるとすごくエネルギーがいる事だと思う。

でしゃばらず、いるようでいない…そんな空気感

のある支援者でいたいと今回の取材を終えて

改めて感じた。(小山加代)

「津久井やまゆり園」のある町、千木良を訪れて

障害者施設「津久井やまゆり園」の殺傷事件について、当法人の機関紙で何か書くべきだと通信スタッフから意見が出た。そして、その担当が私に決まった。この事件についてどのような言葉を綴れば良いのか？新聞やニュースやネット等の間接的に得た情報でこの事件について触れて良いのだろうか？亡くなられた被害者へのお悔やみの言葉しか思い浮かばない…それだけで良いのか？私は頭で考えて答えが出ない場合はとにかく動いてみる性質なので、現地を訪れ見た事、聞いた事、感じた事を記事にしようと決めた。まずは献花へ訪れても差し支えがないか「やまゆり園」へ問い合わせの電話をしてみた。「この度は全国の皆様に心配をおかけしてしまい、誠に申し訳ありませんでした…。」と女性スタッフが重たい口調で対応され、J R「新横浜駅」から「相模湖駅」で降り、バスに乗って「やまゆり園前」まで行く道のりを口早に且つ丁寧に教えてくれた。そんな訳で、私は翌日7日の早朝6時頃に真面の自宅を出発し「やまゆり園」へ向かった。

「やまゆり園」のある神奈川県相模原市緑区千木良という町は都心から離れた山の中にあった。近くには相模湖や石老山、公園やレジャー施設があり、最寄りの「相模湖駅」には登山やキャンプに行くとされる家族連れや学生の団体がちらほらと見えた。その中に私と同じように花を持って献花に来たと思われる人も2～3人いた。「相模湖駅」から神奈中バスで10分ほど揺られ、13時頃に「津久井やまゆり園前」に到着した。

「やまゆり園」は周囲を木々と渓谷に囲まれ、門から施設内を覗いても建物のある敷地の地面が門のある地面から下がって低い為、周囲の道路からも門からも敷地内の状況が全く分からず、あまり良い表現ではないかも知れないが、施設自体は近隣から隔離されているような印象を受けた。また、門から見える施設建物の向こうの山頂にレジャー施設の観覧車と大きなブランコ型の乗り物が動いているのが見え、遊具と事件の起きた施設との対比が奇妙で非現実的な光景に感じられた。

門の外側すぐ横に献花台が置かれ、花と一緒に飲み物やお菓子も手向けられていた。献花台の周辺にいたのは私以外に献花に来られた3名と新聞記者3名だけだった。私は持ってきた花束を献花台に手向け、手を合わせて供養の言葉を心の中で唱えた。「犠牲になった19名の方の魂が安らかに眠れますように…」1分ほど供養の言葉を唱えて献花台から下がると、男性記者が「やまゆり園の関係者の方でしょうか？」と質問してきた。関係者ではなく大阪の真面で障害者関連の仕事をしている事を伝えると、「そうですか…実は私は京都の大学出身で関西に住んでいました」と笑顔で返された。その記者から「やまゆり園」についての情報を聞き出せないかと思い、「関係者の方から何か聞いた事がありましたか？」と逆に質問をしてみた。聞き出せたのは、「怪我を負った方は全員

回復に向かわれているが、集中治療室にいて油断できない状態の人もいる」事と、「他の施設に移る人もいるようだが、入所者によっては他に移る事を受け入れる事ができない人もいるようだ」という2点だった。私は入所者の方が事件後にどのように暮らしているのか気になっていたが、それ以上の事については詳しく聞けなかった。門では警備員が厳しく取り締まっており関係者以外は近づけない感じだったので、施設の人に直接聞く事もやはり難しそうだった。

私の後に献花に来られた落ち着いた雰囲気若い男性がバス停でバスを待っていたので、少し話しができればと思い「すみません、やまゆり園の入所者の方のお知り合いですか？」と聞いてみた。すると彼は「私は障害者です。さいたま市から来ました」と答えてくれた。見た感じ障害者と分からなかったが軽度の知的の方だろう、彼はわざわざカバンから療育手帳を出して私に見せてくれた。彼は「とんでもない事が起きてしまった。犯人は死刑だ。やまゆり園のおかげで友達ができた人っているのに…」と静かな口調だったが強い怒りを表していた。27歳の彼は、さいたま市で両親と同居しており、今回の事件を嘆き一人で献花に訪れたとの事だった。

私には、もう1か所行こうと思うところがあった。それは「やまゆり園」から少し離れた場所にある事件容疑者の家だ。何故このような事件が起きたのか、彼からきちんと話を聞かない事にはこの事件について何も語れないような気がしたからだ。しかし、彼から話を聞く事はできない。ならば、彼の心情を知る手がかりとして、彼が暮らしてきた家と対面したかった。彼に関わる何かに触れたかった。興味と言えはそれまでだが、私の中の衝動がそう向かわせた。家は思ったより施設から近かった。その家は10日ほど前までは彼が暮らしていたはずだが、もう何年も人が住んでいないような暗く静かな佇まいだった。近所では家族が庭先でバーベキューをしている光景が見られた。自然に囲まれたのどかな地域だ。ある情報によると近隣トラブルなどで四年前に両親が家を出て、彼はこの家に一人で暮らしていたようだ。彼もこの家で家族と楽しく過ごす時間があつたはずだと思っていたかった。家は無言で何も語ってくれない。当然だ。私が一方的に何かを感じた気になっても想像や思い込みでしかないという結果に、空虚な気持ちのままバス停に向かい千木良を去る事にした。

結局、「津久井やまゆり園」へ行った事が良かったのかどうかよく分からないままこの原稿を書いている。いや、行かないよりは行ったほうが良かったのだろう。衝動もあつたが、自分の意思で行った事に無駄はなかったと思う。この原稿はただの旅の結果に終わってしまったと思われる方もいるかも知れない。でも、ニュースやネットの情報でしかこの事件を知らない人には、時間が経ってしまうとこの事件についての記憶は少しずつ薄れていってしまうのかなと思う。現地に行ったら色々見て聞いて感じた私には、その体験は心の片隅にずっと残り、「津久井やまゆり園」の事は忘れないだろう。

(菊池 康治)

明日出会う
誰かのために
私たちが
できること



Photo by Beverley Goodwin (CC BY) www.flickr.com/photos/bevgoodwin

障害があっても
自分らしく
暮らすために。

人と人との
つながりが
やがて大きな
力になる。



NPO 法人
箕面市障害者の生活と労働推進協議会
562-0001 大阪府箕面市箕面 4-8-30
TEL : 072-723-3342 FAX : 072-723-6506
<http://www.suisinkyo.com/>

箕面推進協

検索

『みのおすいしんきょう』
で検索!



マジ! 手伝ってほしいんだにやめ!



大募集!!!

登録ヘルパー

資格のない方もお気軽に
ご相談ください。
お値段もお時間も手頃な
資格取得先をご紹介します。
(★資格取得貸付制度あり)

障害のある方の日常生活を
サポートするお仕事です。

泊まり勤務 (女性)

例) 22:00 ~ 翌日 10:00
20:30 ~ 翌日 10:00
など

外出サポート

例) 9:00 ~ 18:00 等
多少変動あり

時 給

1400 円以上
夜勤 1 回で 1 万以上

土日の外出サポート (男性)

時給 1300 円以上

試用期間あり

試用期間中・時給 860 円
交通費補助あり

◇ヘルパー・スタッフ研修会 「震災等の災害発生時の支援について」◇

2016 年 8 月 27 日 (土)、午前 10 時～12 時過ぎ、箕面市文化・交流センターにてヘルパーさんを対象に研修会を開催しました。

残暑厳しき折、災害発生時の支援について自分事として考えようと、51 名のヘルパーさん、オブザーバーとして利用者さん、ご家族 21 名が来場されました。

認定 NPO 法人 ゆめ風基金理事の八幡隆司さんを講師に迎え、阪神淡路、新潟中越沖、東北、熊本地震での障害者支援活動の実績も踏まえて、福祉事業所の事業継続計画 (BCP・Business Continuity Plan) についてお話しいただきました。

居宅介護等、ヘルパー派遣事業にとっての災害時、障害のある利用者さんもヘルパーさんも共に被災当事者となります。突然の災害に冷静に対応するのも困難な中、利用者さんの安否確認、安全確保と支援体制の継続は欠かせません。しかしながらヘルパーさんの派遣が困難となるイメージを想定し、いかに緊急事態に対応していくか、ワークショップで、利用者さん、ご家族、ヘルパーさんと活発に意見交換を行いました。

最後に箕面市総務部市民安全政策室の奥田さん、山口さんより、箕面市としての防災計画の説明があり、会場からの質問に答えきれないところで終了となりました。

当然、この研修で何か解決したわけではなく、私たち居宅介護等事業所として具体的に、かつ柔軟に対応できる計画を立てていく必要があります。私たち事業所だけでは解決しえない状況が起こりますので、他事業所、団体との連携を密にとっていくことも課題解決の一つです。今回の研修を機に災害発生時の支援について継続して検討してまいります。(安東 由紀子)



八幡隆司さん (左)、市民安全政策室
山口さん (真ん中)、奥田さん (右)

もしもヘルパー派遣の途中で大地震が発生したら・・・



こんな時どうすればよいのか、事業所として取決めはありますか？

すいしんきょう かいいん だいほしゅう 推進協「会員」を大募集！！

日増しに秋の深まりを感じる昨今、皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会（略して推進協）の諸活動にご理解とご協力を賜り心からお礼申し上げます。

当法人は、「障害者市民の権利保障及び自立生活の促進」を理念に掲げ、現在、障害者総合支援法に基づく下記の事業を実施・展開しております。

☆居宅介護 ☆重度訪問介護 ☆同行援護
☆移動支援（ガイドヘルパー） ☆共同生活援助（グループホーム）3カ所
☆相談支援事業 ☆放課後等児童デイサービス ☆地域交流事業

また、他にも、当法人独自の事業として、送迎サービス、対外的広報誌の刊行、ヘルパー研修事業（ヘルパー養成）等の事業も実施しています。

今後も障害者市民の自立生活への援助や相談及び情報発信等、障害者市民にとって暮らしやすい社会づくりにむけた活動（各種事業含め）を継続していく方針ですので、より一層のご支援・ご協力いただきますようお願い申し上げます。

つきましては、一人でも多くの皆様に、当法人の「理念及び活動方針」の賛同者で

あり応援者でもある「会員」になって頂き、当法人の活動を応援して頂ければと願っています。

入会希望の方はご一報下さい。入会申込書を送付致します。誠に勝手ではありますが、何卒よろしくお願い致します。なお、会員の内訳は下記の「3種類」となっております。末筆となりましたが、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

団体会員	会費	：	1口	10,000円
個人正会員	会費	：	1口	3,000円
個人賛助会員	会費	：	1口	1,000円

◇留意点 - 団体会員・個人正会員：総会での議決権あり。 個人賛助会員：議決権なし。

■問い合わせ 072-723-3342（会員担当：木下）

みなさん、推進協の応援団：会員になって下さい！お願いします！

◎ とうほうじん あんない 当法人のご案内 ◎

とうほうじん でんわ ふあつす いーめーる ほーむぺーじ らいしよ ほうもんなどさまさま ほうほう そうだん しえん う つ
当法人では電話・FAX・Email・H P・来所・訪問等様々な方法で相談・支援を受け付けています。

★法人本部★(第1事務所)
NPO法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会
〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号
営業時間：月曜から土曜 午前10時から午後6時
TEL：(072)723-3342 FAX：(072)723-6506
Email：JDW07270@nifty.com
Website：http://www.suisinkyo.com/
お花屋さんの奥に入ったところにあります。
居宅・重度訪問・移動支援・同行援護等のヘルパー派遣事業や
グループホーム事業・通信発行事業をおもに実施。

★法人支部★(第2事務所)
地域交流センターさんかくひろば
〒562-0004 大阪府箕面市牧落3丁目2番15号
営業時間：月曜から土曜 午前10時から午後6時
TEL：(072)734-6833
FAX：(072)720-6835 Email：mintlife@big.or.jp
Blog：http://www.suisinkyo.com/sankakublog
地域交流センター事業・放課後等デイサービスを実施。

★法人支部★(第3事務所)
相談支援事業所ライフタイムミント
〒562-0004 箕面市牧落3丁目2-26
グリーンみのおA棟101
営業時間：月曜から土曜 午前10時から午後6時
TEL：(072)720-6806 FAX：(072)720-6808
Email：mintlife@big.or.jp
相談支援事業・送迎サービス事業を実施。

【編集後記】

- ・「カエルのうた」「パンのみみ」は作者体調不良等の為、休載しています。(職員K)
- ・今年の夏は一度もお祭り行けず花火見れず(+_)ワタシ荷してたっけの夏でした(職員KK)
- ・「仕事って大変」と思いがちですが「仕事って楽しい」でなくちゃと学びました。(ビーどろ)
- ・箕面市民になって5ヶ月、でもまだ箕面ビールは未経験。今後のお楽しみ！(職員F)
- ・文章書くってむずかしい！新加入いたしました。よろしくお願ひします。(職員O)

編集／特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号 電話072-723-3342 FAX072-723-6506

E-mail:JDW07270@nifty.com 郵便振替00990-4-116066 公式HP: http://www.suisinkyo.com/

発行人／関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山2-2 東興ビル4階

一九九一年九月三日 第三種郵便物認可 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日) 発行 定価百円